

SNS と電子書籍の普及、人工知能による創作など、様々なテクノロジーの発展が文学を取り巻く環境を変え、日常生活でも仮想現実や仮想通貨が浸透し、フィクションと現実との境界が見えにくくなっている現在、文芸フィクションはどうあるべきか。円城塔氏と千野帽子氏を講師に迎えてシンポジウムを開催する。



文学カフェ  
現代フィクション  
の条件

講師：円城塔（作家）  
千野帽子（文筆家）

2016年11月25日（金）  
午後6時15分～8時15分

司会：久保昭博（関西学院大学教授）  
コメント：大浦康介（京都大学教授）

京都大学人文科学研究所本館  
共通1講義室

入場無料、事前申込不要



現在、様々なテクノロジーの進化によって、私たちを取り巻くフィクションの条件が大きく変化しつつある。SNS と電子書籍の普及は、気軽に読み書きできる環境を整え、古典的な文学の言語を急速に風化させている。ここから新しい文学が生まれるのか、それとも人工知能による創作が人間の作家を駆逐するのか。これは文芸フィクションだけの問題ではない。仮想現実や仮想通貨が日常生活に浸透していく現代社会において、私たちはフィクションと現実との境界をどのように捉え直したらよいのだろうか。



デビュー以来、文学作品における言語の問題とフィクションの条件を探究している円城塔氏、そしてブックレビュー、俳句など、多分野の文学活動によって知られる千野帽子氏を講師に迎え、「現代フィクションの条件」を検討したい。



## 円城塔（えんじょう とう）

作家。東京大学大学院博士課程修了。『オブ・ザ・ベースボール』（文藝春秋）で文学界新人賞、『道化師の蝶』（講談社）で芥川賞を受賞。他に『Self-Reference ENGINE』（早川書房、フィリップ・K・ディック賞特別賞）『屍者の帝国』（伊藤計劃との共著、河出書房新社、日本 SF 大賞特別賞、星雲賞）など。

## 千野帽子（ちの ぼうし）

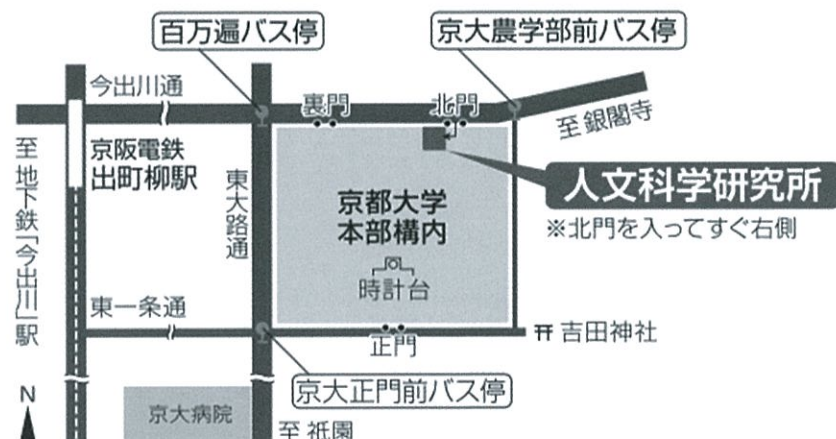
文筆家。パリ第4大学大学院博士課程修了。著書に『読まず嫌い。』（角川書店）『文藝ガーリッシュ』『世界小娘文学全集』（河出書房新社）『俳句いきなり入門』（NHK 出版新書）など。訳書（別名義）にライアン『可能世界・人工知能・物語理論』（水声社）。

## 久保昭博（くぼ あきひろ）

関西学院大学教授。パリ第3大学大学院博士課程修了。フランス文学・文学理論。著書に『表象の傷—第一次世界大戦からみるフランス文学史』（人文書院）など。

## 大浦康介（おおaura やすすけ）

京都大学教授。パリ第7大学大学院博士課程修了。文学・表象理論。著書に『誘惑論・実践編』（晃洋書房）など。



●市バス 17, 203 系統「京大農学部前」下車徒歩 1 分／31, 201, 206 系統「百万遍」下車東へ徒歩 5 分

●京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩 15 分  
京都大学 北門入ってすぐ右

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催：京都大学人文科学研究所（〒606-8501 京都市左京区吉田本町）、科学研究費基盤 B「世界文学の時代におけるフィクションの役割に関する総合的研究」

問い合わせ：武田将明（研究代表者）takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp